

Welなかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

入場無料

第73号

発行/2018.9



第30回

中川区

福祉ふれあい広場

中川区の障がい者福祉施設や団体、ボランティアグループが実行委員会を組織し、「第30回中川区福祉ふれあい広場」を開催します。実行委員一同、イベントを盛り上げてまいりますので、ご家族やお友だちを誘って、ぜひ遊びに来てください。そして、区民のみなさまとともに記憶に残るイベントにしましょう!!

と き 平成30年11月18日(日) 10時~15時

ところ 中川区役所駐車場および講堂
(小雨決行、荒天時中止)

●ステージ

障がい者団体が共演する「ふれあい大合唱」
ゲストステージもあり、盛り上がること間違いなし!

●福祉体験スタンプラリー

●模擬店

●バザー

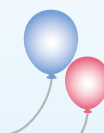
●遊びの広場

●共同募金コーナー

●お楽しみ抽選会

イベント終盤には景品の当たる抽選会を実施!
最後まで参加するといいことがあるかも!?

福祉体験
スタンプラリーは
全部体験すると、
参加賞プレゼント!



ボランティア募集
初めての方もぜひ!

ボランティアでふれあい広場を盛り上げよう!

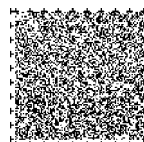
~イベントのお手伝いをしてくれるボランティア大募集~

主な活動内容は、模擬店やバザーなどのお手伝いや会場の清掃、後片付けなどです。ボランティア経験者だけでなく、イベント好きな方、何か新しいことにチャレンジしてみたいなと思っている方なども大歓迎です!やってみたいという方は、中川区社協(電話:352-8257)へ、10月15日(月)までにぜひご連絡ください。

今号の内容



中川区福祉ふれあい広場のご案内	1	第4次地域福祉活動計画策定状況	5
赤い羽根共同募金がはじまります	2	平成29年度収支決算(報告)	5
公開プレゼンテーション審査会	2	サマーボランティアスクール報告	6
いきいき支援センターからのお知らせ	3	災害ボランティアセンター/災害義援金	6
第3次地域福祉活動計画ニュース	4、5	寄付のお礼のご案内	6



SPコードを載せました。



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金がはじまります!

12月1日からは、歳末たすけあい募金もあわせて行われます

共同募金は10月1日から全国一斉に行われる募金活動で、住民の皆さまの自発的なたすけあいの精神に支えられた民間の福祉活動を支援するための募金です。

集められた募金は、主に中川区の福祉のために役立てられます。

また、大規模な災害が起こったときの備えとして、募金額の一部が愛知県共同募金会で積み立てられます。



平成29年度 募金総額
10,580,986円

インターネットで共同募金の使いみちを見ることができます
赤い羽根データベース『はねっと』
<http://hanett.akaihan.or.jp/hanett/pub/home.do>

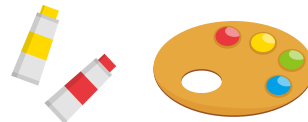
共同募金は、翌年度の使いみちの計画をたて、募金を募る仕組みです。
よりよい地域づくりのために、みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

平成30年度 目標額 **12,373,000円**

『赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール』作品展示スケジュール

共同募金運動の一環として、小中学生を対象とした書道、ポスターの作品コンクールが行われます。優秀作品については、下記の日程で展示予定です。

10月 4日(木)～10月10日(水) NHK名古屋放送センタービル1階プラザで展示(愛知県共同募金会入賞作品のみ)
10月17日(水)～10月30日(火) 中川区在宅サービスセンター
11月 1日(木)～11月15日(木) 富田支所
11月18日(日) 10時～15時 中川区役所(中川区福祉ふれあい広場会場内)
11月19日(月)～12月3日(月) 中川区役所



公開プレゼンテーション による審査会を開催しました!



「地域の底力を応援」助成事業の審査会を、7月23日(月)に中川区在宅サービスセンターで開催しました。

この事業は、中川区で活動しているボランティアグループ、サロン・サークル活動にはどのようなものがあるか、お互い出会い・知り合う機会を作ること、また財源としている賛助会費・共同募金など寄付をしていただいた方々に、使いみちを

知ってもらうことを目的として行っています。

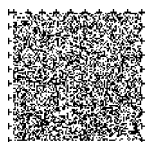
助成には、地域が抱える福祉課題を解決するための発展的な事業を対象にした「はばたき事業助成」と、地域福祉活動に対する「ささえあい活動助成」の2種類があり、当日はささえあい活動助成申請23団体によるプレゼンテーションと審査が行われました。

また、審査結果が出るまでの時間、参加団体同士の活動紹介等をする交流会を行いました。



<「ささえあい活動助成」助成金交付決定団体(当日発表順)>

多胎児子育てサークル ひまわりキッズ/中川区子ども会連合会/パンダOB会/クローバークラブ/打出荘ふれあいサロン/くつろぎ茶話会サロン/かばた運営委員会/子育て支援グループ じゃんけんぽん/傾聴ボランティア みみちゃん/チューブ体操 健康サロン/琴美会/江松ひまわり会/みなと医療生活協同組合 荒子東支部/地域ボランティア秋桜/知的障がいをもつ子と親のつどい「かたつむりの会」/にこにこサロン/映画を見る会&入江さんとうたう会/なかがわ子ども食堂/うたごえ喫茶in八熊/手話サークル春の会/ママスタート・クラブ中川/中川フレンズ/中川子育て支援ボランティア「ブーフーウー」/人形劇団「あっぱる」



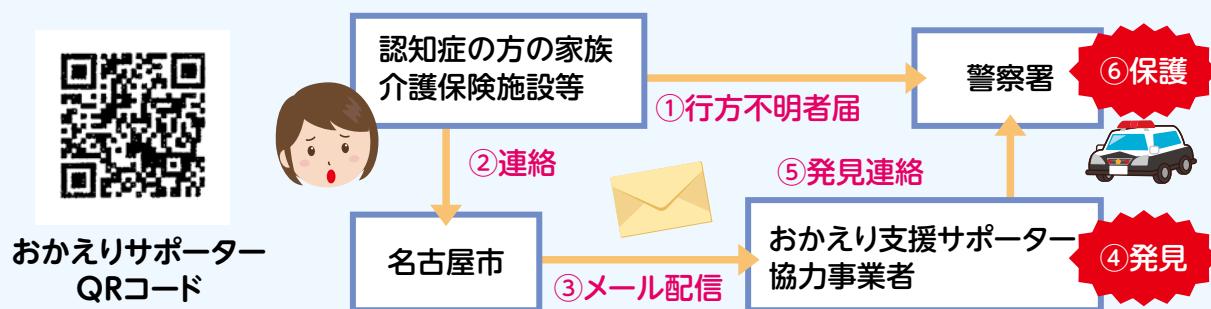
いきいき支援センターからのお知らせ

はいかいおかえり支援事業について

目的もなくウロウロと歩き回ることを一般的にははいかいと言われています。認知症のある方は、始めから目的もなく歩き始めているわけではなく、その方なりの目的や理由があります。ただ、認知症になるとその目的を忘れたり、様々な刺激で変わってしまったり、目的を最後までひとりでやり通すことが難しいなどの困りごとが出てくる特徴がみられます。

はいかい高齢者おかえり支援事業は、認知症の高齢者の方が外出した際に自分がどこにいるのかわからなくなったり、ご自宅に戻れなくなった時に、早期に発見できるよう高齢者の方の情報を事前に登録し、高齢者で本人の安全とご家族への支援を図るための取り組みです。家族等からの依頼により、行方不明となった方の身体的特徴や服装等の情報をおかえりサポーターや協力事業者に対してメールで配信し、情報提供を呼びかけます。

事業を利用する、または協力者としておかえりサポーターになっていただくためには事前登録が必要です。お気軽にお問合せください。



はいかいおかえり支援事業の模擬訓練を開催しました!

平成30年5月21日(月)14時～16時に戸田学区内で開催しました。

今回、戸田学区内の区政協力委員、民生委員、老人クラブ、戸田学区内のサロン参加者等の地域住民の方32名に参加いただきました。地域住民の方が認知症についての知識や地域で見守る関わりを学んでいただくことを目的として、搜索、声掛けの模擬訓練を実施しました。

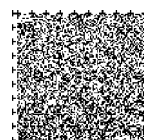
搜索した方からは、「もし全く知らない人だったら声をかけるのは勇気がある」「声掛けの後、どのようにコミュニケーションをとったら良いのか分からず不安になった」などの感想がありまた、「不安な中、大勢に囲まれてしまうのは怖いだろうと思う」「いきなり名前を聞かれるのは怖い」などの感想がありました。

この事業を通して認知症の方はもちろんですが、地域で困っている様子の方がいらっしゃれば、周囲の方が見守りやお声掛けいただけるような地域作りのきっかけになればよいと思っております。



▼いきいき支援センターは、高齢者のみなさんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう健康・福祉・介護などさまざまな面から高齢者を支える機関として区内2か所に設置されています。

- **東部いきいき支援センター** 中川区八幡本通二丁目27 コーポ中野1階 電話 **354-8343**
広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方
- **西部いきいき支援センター** 中川区小城町一丁目1-20 電話 **352-8258**
- **西部いきいき支援センター分室** 中川区春田四丁目119 プリマヴェーラ1階 電話 **364-7273**
野田、荒子、正色、五反田、西前田、長須賀、戸田、春田、豊治、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方



第3次地域福祉活動計画ニュース

中川区の地域福祉を進めるため、平成26年度から5年間を計画期間とする「第3次地域福祉活動計画」も5年目を迎えました。計画を推進するために、3つのワーキンググループに分かれて住民の方々と社協が検討を重ね、事業を実施しています。今回は、その中から3つの事業をご紹介します。

地域の社会資源・環境づくりグループ

なかがわ子ども楽校 2018夏



7月30日（月）に中川区在宅サービスセンターで、31日（火）に富田北地域センターで中川区内の小学生を対象に開催しました。活動計画推進委員の皆さんや学生ボランティアさん等にも協力いただき、両日とも25名を超える子ども達の参加がありました。今回は宿題、習字、調理実習に加えて、手づくりおもちゃの工作もしました。竹の水鉄砲やストローハウス、紙飛行機を作り、午後は公園にあそびに行きました。参加した子ども達からは、「みんなで水鉄砲で遊んで楽しかった」、「高校生のお姉さんに分からない所を教えてもらえて良かった」という感想をいただきました。

地域の方々になかがわ子ども楽校での取組を知っていただく中で、今度は自分の住む学区でも開催してみたいという声もいただいています。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ本会までお問い合わせください。



地域の応援団づくりグループ

中川商業高校&みつば会※交流授業



みつば会に参加する高齢者のみなさんに、福祉教育の一環としてご協力いただきました「中川商業高校とみつば会の交流授業」についてご紹介します。

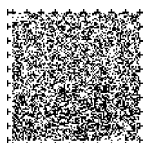
交流授業は7月に6回に亘って行い、2年生全6クラスの生徒約220名とみつば会参加者から55名が参加。高校生の司会の下、みつば会の参加者が高校生と日々の暮らしぶり等について和やかに語り合いました。

新聞記事を見せながら戦時中の体験を語る方、卒業アルバムを持参する方、ご自身の半生を語られる方など、50年～80年近く異なる世代さまざまな話はお互いに貴重な体験となったことと思います。「今の若者をどう思いますか?」との高校生の質問に対して「スマホを見てばかりで友達と話をしないのか心配。」「いろいろ恵まれていてうらやましい。」との声。「自分たちが恵まれていることが分かりました。」と真摯に耳を傾ける高校生の姿勢に感激される方も。

また「現代の若者が何に熱中しているのか、なりたい職業や将来の夢を聞けて良かった。」「元気をもらえた。」などの喜びの声も多数。

いきいきと生きるために高校生に伝えたいことを温かい眼差しで力強く語る姿に、日頃のみつば会では見られない一面を再発見したと語る職員も。

これからご自身の人生を切り拓いていかれる高校生の方々に、みつば会との交流が良い刺激になれたなら幸いです。



※本会が市から受託した介護予防と仲間作りを目的とした事業（高齢者はつつらつ長寿推進事業）で「みつば会」の愛称で親しんでいます。

地域のつながりづくりグループ

なかがわ男塾！ ～地域でイキイキおやじになろう！～



▲剪定方法のレクチャーを受けている様子

「人が出会う機会づくり」として、地域のつながりづくりを目的としており、地域住民を中心とした活動計画推進委員（地域のつながりグループ）とともに作り上げてきた取り組みです。平成27年から開始し、今年で4年目を迎える男性向け講座「なかがわ男塾！」では、年々参加者は増え、皆さんイキイキと楽しく実施しています。

今年は、交流企画として他団体の男性グループとご一緒させていただく予定もあり、男性ならではの企画講座を、下半期（10～3月）も開催していきますので、ぜひお越しください。



▲網戸の張り替えの様子



お問い合わせ



中川区社会福祉協議会（☎:352-8257 担当:平林・神谷）まで

第4次地域福祉活動計画 策定状況

現在、中川区の地域福祉を進めるため、平成31年4月から5か年にわたる計画づくりを行っています。

公募等により選任された委員（12名）と社会福祉関係委員（12名）の計24名で構成された第4次地域福祉活動計画作業部会（部会長:汲田千賀子氏（同朋大学社会福祉学部））で、計画の素案をまとめ、平成31年3月の策定を目指します。

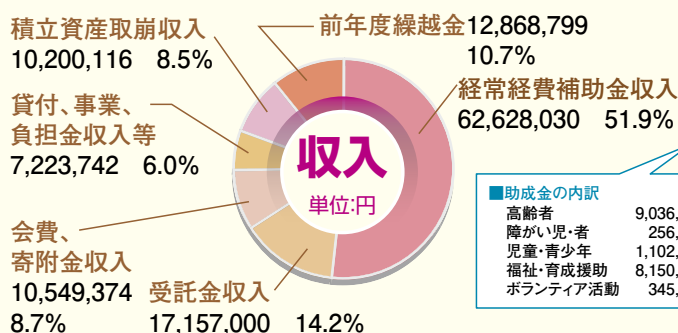
作業部会では、どんなまちになったらよいか「夢」を語るところからはじまり、現在は、「孤立しない生活、近隣のつながり」「場づくり・人づくり」「健康・予防・安全」の3つテーマでグループ・全体協議を繰り返し、議論を積み重ねています。

7月26日（木）には、第3次地域福祉活動計画（現計画）の推進主体である推進委員の皆様との合同会議に臨み、現計画を通じて発展した福祉の取り組みについて学ぶとともに、「みんなでつくる支えあいのまち」実現へに向けて、熱い想いを共有しました。

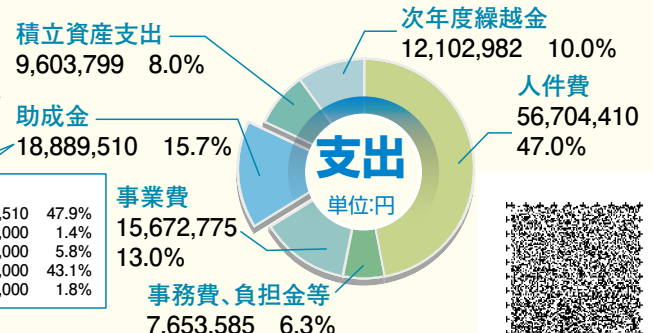


中川区社会福祉協議会 平成29年度 収支決算

収入合計 120,627,061円

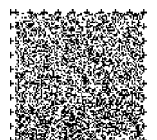


支出合計 120,627,061円



■助成金の内訳

助成金種別	金額	割合
高齢者	9,036,510	47.9%
障がい児・者	256,000	1.4%
児童・青少年	1,102,000	5.8%
福祉・育成援助	8,150,000	43.1%
ボランティア活動	345,000	1.8%



なかがわ
ボラセンだより

このコーナーでは、中川区社会福祉協議会で行っているボランティアセンター（ボラセン）事業について紹介します。

**サマーボランティアスクールを実施しました！**

福祉施設でのボランティア体験を通して、福祉に関心を持ち、ボランティア活動のきっかけづくりしてもらおうと、夏休み期間中、中高生を対象に実施し、約250名が参加しました。

活動は、高齢者施設、障がい者施設、児童施設に分かれ、5日間通って行いました。初めての体験で緊張したり、うまく言葉や行動に表せなかったり、接し方にとまどったりといった難しさも体験しながら、多くの参加者が、次第に自分らしさを発揮して、積極的な活動ができるようになっていきます。

中には、将来の夢など具体的な目標を持って取り組んでいる参加者もいて、「保育士になるのが夢で、サマーボランティアスクールで「子どもたちを笑顔にする」ことを目標に、明るく楽しく接するようにしています。」と話していました。

サマーボランティアスクールはきっかけづくり。体験を活かし、今後様々な活動につなげていってもらえたら、と思います。

**参加者の感想**

- 最初は泣いている子どもにどう接していいかわからずに困ったけど、今は前よりうまく声をかけられるようになった。
- 高齢者施設で活動していて、どんな話題がいいのか迷っていたけど、お年寄りの話を聞いているだけでも嬉しそうな顔をしてくれるし、ためになる話もたくさんあって、参加して良かった。

《サマーボランティア受入賛同施設》（敬称略・順不同）

お忙しい中、ボランティアの受け入れにご協力いただき、ありがとうございました。

フラワー園／あんのん／松寿苑／豊治共愛の里／共愛の里／第2共愛の里／高杉共愛の里／オーネスト戸田川／オーネスト紫の郷／オーネスト千の音／松和苑／ラ・ファミリア／みず里／ラベンダー／シンセーロ／ユニット老健華／サポートセンターbeing小本／わーくす昭和橋／FLAP／めいせいなかよしハウス／さくらんぼの会／富田作業所／めいせいひまわりの家／デイサービスセンターなかよし／めいせい元気ハウス／デイサービスセンターあおぞら／戸田川グリーンヴィレッジ／中川児童館／ひおき保育園／豊成保育園／篠原保育園／中野保育園／十番保育園／かなで保育園／打出保育園／プラムの木保育園／中島保育園／東起保育園／和光保育園／正色保育園／柳島ののほな保育園／みかつき保育園／正雲寺保育園／ニチキッズ長須賀保育園／たかなし保育園／富田第一保育園／富田第二保育園／富田第三保育園／はとぼっぱ保育園／事業所内保育キダーフレンズ／まえだの森保育園／清涼保育園／はな保育園せんのみ

**ご存知ですか？
災害ボランティアセンター**

豪雨など大規模災害が発生した場合、被害状況に応じて『災害ボランティアセンター』が設置され、駆け付けたボランティアと被災者の困りごとの調整を行います。

名古屋市の場合、市・区役所、災害ボランティアグループ、社会福祉協議会等が連携した「公設民営」型のセンターを設置することになっています。



災害ボランティアセンター
設置運営訓練の様子

災害義援金ご協力のお願い

平成30年7月豪雨災害により、西日本を中心に甚大な被害が発生しました。現在、中川区共同募金委員会（中川区社会福祉協議会内）では災害義援金の受付を行っています。

お寄せいただいた義援金は中央共同募金会または被災県共同募金会を通じて被災された皆さまにお届けいたします。あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

寄付のお礼

寄付金および寄付物品は、中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。（平成30年5月～7月）

- 中川区地域女性団体連絡協議会 様
- 中日本フード株式会社 様 ● 近藤 弘子 様 ● 匿名 様

〈事業者の皆さまへ〉社会貢献の一環として、寄付金の他、地域のイベント等で使用させていただく物品やお菓子のご寄付も募っています。ご関心のある事業者の皆さま、ご連絡お待ちしております。

編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

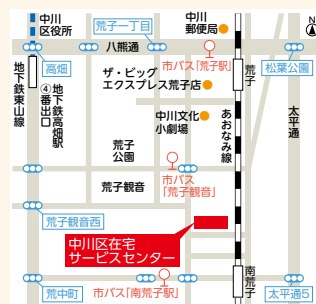
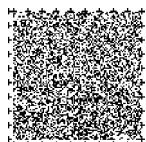
〒454-0875 名古屋市中川区小城町1丁目1-20

TEL (052) 352-8257 FAX (052) 352-3825

メールアドレス nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ http://www.nakagawashakyo.jp

区内のイベントやボランティア情報案内、研修室の貸出などを行っています。
お気軽にお問い合わせください！



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。 「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。